

市政を聞く 一般質問

9月定例会の一般質問は、9日、10日の両日行われ、14名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。

一般質問発言通告一覧表

質問者	件名
池尾 正彦	◎食のまちづくりと食材の安全確保について ◎学校図書充実について
西本 正俊	◎「小浜市情報銀行創設」 ◎「再・一隅を照らす」 ◎「今日求められる教育環境」
山本 益弘	◎北陸新幹線若狭廻りについて市長の考えを問う ◎小学校教育(校舎補修要望)について ◎少子化対策(保育園の充実)について ◎いきいきまち・むらづくりについて
中村 千代子	◎子ども読書活動の推進について ◎ジュニア議員制度について ◎子育て支援について
清水 正信	◎市町村合併とまちづくりを問う
荒木 弘	◎市町村合併について ◎平成14年度重点検討事業について ◎市財政について
山崎 勝義	◎公共交通網等の現状と今後の取り組みについて ◎福祉行政について
山口 貞夫	◎男女共同参画推進について ◎「食の安全・安心都市宣言」について
深谷 嘉勝	◎北陸新幹線について ◎市町村合併について
小堂 清之	◎「食のまち小浜」を成功させるために問う ◎学校給食に地元産食材の導入について ◎162号(深谷～湯岡橋)の道路新設等について
宮崎 治宇蔵	◎大飯原発の防災訓練について ◎住宅改修助成について ◎農業問題について ◎介護保険について ◎障害者支援費制度について
石橋 和彦	◎名田庄村との共同事業で合併推進を ◎中国「西安」との姉妹都市提携について ◎小浜漁港の外来船舶の撤退について
池田 英之	◎食のまちづくりにおける今日の課題について ◎農業集落排水使用料の徴収体系について
岡 明男	◎交通体系の整備とまちづくりについて ◎教育行政について(新しい学習指導要領含む)



池尾 正彦 議員

問① 食材の安全性確保対策について(農産物への対応)。

答 営農生活のしおりで食のまちづくり条例の基本理念を述べ、生産者への普及や啓発を図り、作物に応じた薬剤使用時期や回数など、農薬使用を少なくするよう食材の安全性確保に努力している。

問② 航空防除について。

答 有人ヘリ使用から無人ヘリ

問③ 食育について。

答 学校では指導計画を作成し、系統的に学習させる。

問④ 学校図書館図書の充実について。

答 平成十五年度からは、学校・家庭・社会教育に係わる食育の専門職員を配置する。国の交付税措置もあるの



西本 正俊 議員

問② 小浜小学校は二十一世紀の小浜市モデル校としての建設構想であるべきと考える。

答 『誇り高き若狭人』の育成を目指し二十一世紀のモデル校となるべく次の四つのことを柱としてこれからの学校を建設していきたい。
一、地域に開かれた学校。
二、潤いのある環境の場。
三、最新の学習環境の設定。
四、安全対策の充実。

また、母子家庭対策の充実についても質問をおこなった。

問① 小中学校の校舎補修要望の対応を問う。

答 (教委) 校舎補修要望は議員指摘どおり今後現地を確認し緊急性を考え予算要求する。(市長) 学校修繕予算については認識不足であった。今後よく検討する。

問② 保育園の統廃合の考えと改修の考えを問う。

答 統廃合は積極的に推進していくが、時期については保護者の同意、施設用地の問題もあり、行政改革推進の目標に沿って検討する。改修は緊急性を要するところから順次実施する。

問③ 北陸新幹線若狭廻りに対する市長の考えを問う。

答 嶺南地域全体の発展方向を見定めて北陸新幹線、琵琶湖若狭湾快速鉄道の実現に取り組んでいる。

問④ いきいきまち・むらづくりの今後の継続性を問う。

答 平成十六年度以降も総合的に判断し、調整しながら支援していく。



山本 益弘 議員



中村 千代子 議員

一、子供読書活動の推進に関して

問① 学校図書館の図書整備の充実について。

答 学校図書館の充実に向けて、蔵書冊数を今後、計画的に増やしていく。

問② 司書教諭の配置計画は。

答 図書館の活用を充実させるために、司書教諭等の人的配置を推進していく。

問③ 副読本の選定方法は。

答 多くの学校が副読本を使用して授業を行っている。選定については、児童生徒の実態に合わせて行っている。

二、子育て支援に関して

問① 男女共同参画社会において「ベビーチェア」の設置場所と、台数について。

答 公共施設と民間合わせて、十二施設、十五台の設置を予定している。

問② 設置のわかる目印は。

答 入口に表示マークを貼り、利用者にわかりやすいようにする。



清水 正信 議員

問① 市町村合併で目指す枠組みは。

答 小浜商工会議所等が要望する遠敷郡との合併に同感。熟度が高まるように努力していきたい。

問② 自立できるまちづくりがもとめられている。財政力の強化が重要である。

答 まちづくり、交流人口の拡大により、経済の活性化につながるためにも早期の合併は必要。

問③ 食文化、豊かな自然、歴史、文化等を大切にし、小浜ブランドを育てることがファン作り、リピーター作りにつながると思うが。

答 小浜市全体が御食国として市民がもてなしの心を持って受け入れる態勢が整備されることで、リピーターを生む。

問④ 就学前全幼児の医療無料化を小浜市単独でも実施できないか。

答 今後補助対象の拡大を県へ働きかける。



荒木 弘 議員

問① 市町村合併について、現状の取り組みは。特例法の期限内を目指すなら協議会の設置を急ぐべきでないか。

答 合併に対する現状意識などを把握するためアンケートを実施している。近隣の自治体の意向を踏まえ、年内に方向性を出せれば、年度内の法定協議会の設置、期限内の合併は可能と考える。全力で取り組む決意である。

問② 平成十四年度の重点検討事業計画の見直しは。

答 不燃物処理場については企業から提案もあり、具体的検討に入っている。

問③ 市の財政基盤確立の対応は。

答 今後一層厳しい財政運営が予測される。歳入、歳出の両面から財政健全化策に取り組み。「食のまちづくり」の推進を図り、交流人口の拡大、雇用確保の施策を積極的に推進する。また、財政基盤確立の観点からも市町村合併を実現したい。



山崎 勝義 議員

問① 新幹線若狭ルートについて市長の見解を問う。

答 若狭ルートは閣議決定を受けた整備計画としての重みは十分認識している。日本海国土軸形成の意味からも取り組んでいく。

問② 琵琶湖若狭湾快速鉄道について。

答 滋賀県との協議を踏まえた整備スケジュールの明確化と共に上中町湖西地域との連携強化を図っていく。

問③ 近敦線（舞鶴若狭自動車道）について、八月三十日に道路関係四公団民営化推進委員会が総理大臣に提出した中間整理の内容によると小浜西から敦賀間が凍結規格の見直しに含まれるがご意見は。

答 国幹審の議を経て計画的に進められている高規格幹線網の整備方針を根本から覆すもので到底容認できない。必要性等粘り強く訴えていく。

問④ 観海寮の民間委託移譲に関して。

答 県との協議のなか福寿園の移譲計画と関連して現在両施設を平成十五年四月に民間への事業委託に向けて協議している。



山口 貞夫 議員

一、男女共同参画推進について

問① 市が目指そうとしている男女共同参画の将来像は。

答 小浜らしさを出すため「共に考える食と健康」「男女の特徴と特性への理解」「配偶者感の人権侵害の根絶」など加えた。

問② 女性の参画が進まない背景は。

答 市民意識調査等から、古くからの習慣やしきたりによって創られた性別による固定的な役割分担意識がある。

問③ 参画推進を考えている分野とその目標は。

答 参画分野は主として審議会等付属機関の委員。

二、安全で安心な食のまちづくりについて

問① 品質・付加価値向上の具体的推進として市は「食の安全・安心都市宣言」を行ってはどうか。

答 J.A・漁協とも相談してその方向に取り組む。